

**地域プラットフォーム設置の目的**

盛岡市では、公共施設マネジメントの着実な推進を図る上で、大きな課題であった公共施設等の施設維持更新費用の財源不足を解消する一方策として、民間活力導入を取組内容の一つに掲げPPP/PFI手法の活用による維持更新費用の縮減を図ることとしていることから、市及び民間事業者におけるPPP/PFI手法のノウハウ習得と、地域におけるPPP/PFIの浸透が求められており、以下の3点を目的として地域プラットフォームを設置する。

【設置目的】①公共施設マネジメントの着実な推進、②民間事業者のPPP/PFIに関するノウハウ習得と事業参画に向けた競争力強化、③案件形成に向けた官民の情報共有及び対話の促進

**背景・課題と活動目的**

**(1) 盛岡市域における現状**  
 1) 公共施設の現状と維持更新費用の増大  
 向こう40年間で4,345億円の維持更新費用が必要(推計)。年度の支出が現在の2倍以上必要。  
 2) 少子高齢・人口減少社会の到来と厳しい財政状況  
 扶助費が増加し、普通建設事業費の捻出は困難

**(2) 盛岡市の抱える課題**  
 1) 厳しい財政状況の中、効率的かつ効果的な公共施設整備が必要  
 ⇒公共施設マネジメントの着実な推進にはPPP/PFIが必要  
 2) 新たな事業機会の創出、民間投資の喚起による地域経済活性化の実現  
 ⇒PPP/PFIにより地元企業の新たな事業機会を創出

**(3) PPP/PFI導入における課題**  
**課題1) 官民ともにPPP/PFIのノウハウ等が不足**  
 PPP/PFIの実績が乏しく、官民とも、知識・ノウハウが不足  
**課題2) 事業規模が条件を満たさず**  
 PFI導入の検討規模に満たない事業が多く、PFI導入の検討にも至らない  
**課題3) 民間提案の受け入れ体制不足**  
 民間提案についての十分な周知なし  
 提案に必要な情報提供不足、提案受入体制も未整備  
**課題4) 公共施設等総合管理計画からPPP/PFI導入までの仕組みの構築**  
 計画からPPP/PFI案件形成への展開方法がわからない

**【活動計画(活動の方向性)**  
 1) PPP/PFIへの理解醸成  
 基礎的な情報提供、国の動き、これまでの流れと今後の方向性、事例等、幅広い情報を提供  
 2) 民間提案につながる官民対話の実施  
 意見交換会やワークショップ等、参加者が主体的に対話を行う取組を取り入れる  
 3) 中期計画への地域企業の理解醸成  
 案件の基礎となる中期計画の理解を深める  
 4) 継続的な活動実施のための推進体制構築への着手  
 来年度以降の運営会議の準備会の立ち上げの計画、実施

**H28年度実施体制**

**(1) 参加者**

産	・盛岡市内外の企業	・多様な業種に声掛け
官	・盛岡市 ・岩手県 ・北上市	・市民部 ・建設部 ・都市整備部 ・総務部 ・教育委員会 ・財政部 ・上下水道部 ・環境部 ・保健福祉部
学	・岩手県立大学 ・岩手大学 ・日本大学	・経営学 ・地域連携推進部 ・法学
金	・岩手銀行 ・北日本銀行 ・東北銀行 ・盛岡信用金庫 ・みずほ銀行 ・日本政策投資銀行	・地域を問わず参加可能

**(2) 運営体制** 【官】盛岡市、【金】岩手銀行  
 【他】コンサルタント

	地域プラットフォーム	盛岡市官民連携セミナー				
	実施主体	盛岡市				
		産	官	学	金	他
1. 企画・調整			○		○	○
2. 開催ロジ面						
① 募集・受付			○		○	○
② 会場確保			○		○	
③ 当日運営			○		○	○
3. コンテンツ面						
① 講師依頼等			○			○

具体の実施内容

	第1回 (H28.11.29)	第2回 (H28.12.21)	第3回 (H29.1.17)	第4回 (H29.2.17)
会場	盛岡市総合福祉センター 講堂	盛岡市総合福祉センター 講堂	盛岡市総合福祉センター 講堂	㈱岩手銀行本店 大会議室
趣旨	PPP/PFIについて地域で知識を共有【普及・啓発】	地域で取組むPPP/PFI事業を探る【地域での案件形成の推進】	実践的な演習でコンソーシアム組成体験【実務ノウハウの習得】	今後の地域プラットフォーム活動等を考える【継続に向けた動機づけ】
内容	【講演】 ●PPP/PFI推進について(内閣府) ●PPP/PFIを活用した盛岡市の公共施設整備の取組(盛岡市) ●公有資産マネジメントとPPP/PFI(日本政策投資銀行)	【講演】 ●地域プラットフォーム及び民間提案制度の事例紹介(日本経済研究所) 【意見交換会】 ●「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」の「プロジェクト化」 テーマ①:北厨川地区における民間活力の活用可能性 テーマ②:事業リストに必要な情報	【講演】 ●公表資料の見方と地域企業の参画パターン(日本経済研究所) 【意見交換会】 ●テーマ:北厨川小学校大規模改修事業	【講演】 ●地場企業参画型の公民連携事業について(平田建築設計) ●PPP/PFIにおける地域企業との連携(鹿島建設) 【報告】 ●今年度の盛岡市官民連携プラットフォームセミナー(日本経済研究所) ●テーマ:PPP/PFI推進に向けた盛岡市の今後の取組(盛岡市)
参加者	地域企業、地域金融機関等を中心に約90名	地域企業、地域金融機関等を中心に約50名	地域企業、地域金融機関等を中心に約30名	地域企業、地域金融機関等を中心に約70名

【実施の成果】(セミナーアンケート結果にて確認)

■**地域企業のPPP/PFIの知識向上:**PPP/PFIについて理解できるようになった(7割以上)

■**中期計画への理解醸成:**中期計画はビジネスチャンスつながると考える(6割以上)、中期計画に対して新たな見方を知った(2割)

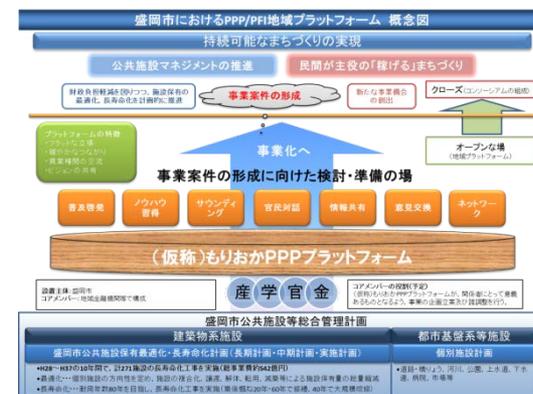
■**対話の場の構築:**他社の考えを知ることができる方法(5割)/官民の意見交換会は官民が対話する方法として有効(6割以上)



今後の活動計画

- 名称(仮称)もりおかPPPプラットフォーム
- 計画期間:H28年~H30年(3カ年)
- 対象事業:①建築物系施設の整備及び管理・運営事業 ②未利用資産活用事業
- 活動内容(案):民間提案制度(案)についての意見交換、PPPロングリスト・ショートリストの紹介等
- 推進体制:コアメンバー会議の設置

<(仮称)もりおかPPPプラットフォーム概念図>



公共施設マネジメントにおける効果的な地域プラットフォームの活用

実施タイミング	地域プラットフォームの目的	期待される効果
中期計画策定後	・効率的・効果的な事業の組み合わせを検討(バリエーション等) ・面的なまちづくりの検討において、民間の発想を取り入れる(行政の縦割り発想の解消)	・事業規模が大きくなり、PPP/PFI対象事業の要件を満たすことで、PPP/PFI案件数増加に寄与 ・川上段階から民間の意見を取り入れることで、よりよい案件を手戻りなく進めることができる
ロングリスト公表後	・ロングリストの情報発信及び理解を深める	・提案対象事業が明らかになったことで、民間事業者の提案が促進
基本構想策定時	・事業規模や対象範囲等について、官民が意見交換	・事業のアウトライン検討に民間の発想を取り入れることができる
基本計画策定時	・簡易な検討の実施 ・事業性の有無の検討	・簡易な検討にかかる事業担当課の負担を軽減 ・官民対話を反映することで、より確度の高い結果を得られる
ショートリスト公表後	・ショートリストの情報提供 ・導入可能性調査に係る民間意向把握(必要に応じて)	・実施予定案件が明らかになったことで、民間事業者の事業参画に向けた検討を促進